

会社にとって本当の良い人財とは

就活支援サービス「プレスタPlus」には、多くの学生が集まり、コミュニケーション能力を学んでいます。そのため、人前で話すことに自信を持ち、スピーチの機会があると任される学生や新社会人が大勢います。人前で堂々と話すことができるのは大変素晴らしいことです。しかし、会社が本当に求めている人財とはどんな人物なのか。そのことについて考えてみましょう。

社 長になる前の15年間は、会社に勤めていました。15年の中で、会社の景

気の良し悪し、仕事で成果が出る出ない、時には給料が止まるという経験もしました。キャリアコンサルティングを立ち上げてから22年の間には、リーマンショックやコロナ禍を経験し、ピンチを乗り越えてきました。そんな会社の逆境に直面したときに、社員がどのような動きをするのかを見てきました。ピンチや逆境のときこそ、その人の本性が見えるのです。会社のために一生懸命に働く者、転職活動をする者、売上を上げていないのに飲みながら会社の愚痴を言い合う者など様々いました。

これらの経験を通して感じることは、会社にとって本当の良い人財とは、ピンチや逆境のときでも、いつもと変わらず出社をして、淡々と仕事をして、会社のためお客様のための第一に考えられる人だということです。逆境のときに、会社の批判や商品の批判をすることは簡単なことです。しかし、そんなことをしたところで、急に何かが良くなるはずがないのです。

今は会社の景気が良くても、これから先

も変わらず伸びていく保証などありません。他社が真似をし、売上が下がることもあります。世の中の景気が悪くなり、全く売れなくなることもあってあります。会社や自分の成果が良いときだけ、良い顔をして働いている勝ち馬に乗るだけのよう人は、いざ会社が逆境に陥ったときに一目散に辞める人なのではないでしょうか。一方で、代表スピーチも任せられず、新人賞や優秀賞に選ばれなくても、腐ることなく日々の業務に一生懸命に向き合っている、安定感ある社員こそが、会社が求めている本当の良い人財になっていくと思います。

就

活支援サービス「プレスタPlus」やリーダーシップの基礎

を身につける「しがく」では、コミュニケーション能力やスピーチ力が培われていき、数百名の前で話せるような自信や、話し方を身につけることができます。ここ最近、二十歳の集いで代表スピーチを任せられた学生が何名も現れ、また、入社式での

新入社員代表スピーチも多くの企業で任

せています。大学生のときから話すトレーニングをすることで、自信が付き、堂々とスピーチできる人が増えているのです。そのように元気に話せる学生は企業からも高い評価をいただき、内定をいただけます。しかし、元気に話せるだけでは、社会に出て一時は活躍したとしても、逆境のときに逃げ出す人になってしまうかもしれません。そのような人にならないように、ここまで書いてきたことを「プレスタPlus」や「しがく」で教育しています。

その結果、お勤めの会社が不調になったときに、踏ん張ったという「しがく」のメンバーさんの話をよく聞くようになりました。ちょっとしたことでも内定を辞退したり、早期に退職したりしてしまう人が多い現代だからこそ「プレスタPlus」では、どんな逆境のときでも、順境のときと同じように働ける人財を育てていきます。企業が本当に求めている良い人財を輩出し、良い企業が会社経営を持続できるよう社会に貢献していきます。



(株)キャリアコンサルティング 代表取締役社長 室舘 勲
MURODATE Isao

2003年に株式会社キャリアコンサルティングを設立。全国で若者の育成に取り組む。千葉県教頭会第1ブロック研究大会、むつろータリークラブ創立65周年式典など講演実績多数。全国社内木鶏経営者会 副会長。ミス・ワールド・ジャパンの講師・審査員。著書に「夢を見て 夢を叶えて 夢になる」(致知出版社)、「まずは上司を勝たせなさい」(講談社)、「『応援される人』にならなさい」(ワック)がある。